

	中間経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標（☆は取組指標，★は成果指標）	中間（10月）		最終（3月）		結果と課題の分析	
					指標評価	評価	指標評価	評価		
確かな学力（知）	「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業の質を高めることにより、これからの社会で活躍することができる生徒を育成する。	学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の確実な定着のための学習</li> <li>ICTを活用した個別最適な学習と家庭学習の充実</li> </ul>	★全国学力・学習状況調査及び三次市学力到達度検査において全学年の各教科平均値と全国平均値との差を昨年度より向上させる。 ☆一人一台端末を活用した授業や家庭学習を設定する。						
		活用力の向上 生徒が主体的に学ぶ授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「課題発見・解決学習」の質を高める授業の研究</li> <li>実践的な英語力の向上</li> <li>個別最適な学習による防災（河川）学習や総合的な学習の時間の推進</li> <li>組織的・計画的な授業研究（一人一研究授業やペアによる授業研究）</li> </ul>	★生徒アンケート「授業では、解決しようとする課題について、『なぜだろう』『やってみよう』と80%以上にする。 ★生徒アンケート「積極的に英語でコミュニケーションをとろうとしている。」を80%以上にする。 ☆総合的な学習の時間において個別最適な学びを実現する授業づくりを行う。 ☆学びの変革を意識した一人一研究を行う。授業交流週間で互いの授業を参観する。						
豊かな心（徳）	集団の力を高め、豊かな感性と行動力のある生徒を育成する。	生徒指導上の諸課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な対応を見据えた積極的生徒指導の推進</li> <li>生徒が安心して過ごすことのできる環境整備</li> <li>あいさつ（先言後礼・4秒礼）の励行・徹底</li> <li>生活意識アンケート・デイリーライフ・班長会等から生徒実態を把握し、面談とSCによるカウンセリングの実施</li> <li>関係機関との積極的な連携</li> <li>道徳価値の自覚を深める授業</li> </ul>	★年間30日以上欠席がある生徒（不登校生徒）数を昨年度比50%以下にする。 ☆生徒アンケート・デイリーライフ・面談から生徒実態を把握するとともに、SCによるカウンセリングを実施する。 ★生活アンケート「自分のよさは、まわりの人から認められていると思いますか」を90%以上にする。 ★i-checkで、いじめのサイン・対人ストレスを標準スコア50以上にする。 ★「道徳科」では、「『道徳の時間』の勉強はためになると思う。」を90%以上にする。						
		主体的な生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が企画する生徒会・専門部の活動</li> <li>いじめ0プロジェクトの継続・深化</li> <li>思いやりの木の取組</li> </ul>	★生徒アンケート「あなたは、生徒会活動に真剣に取り組みましたか」を90%以上にする。 ★ボランティア活動への参加率を70%以上にする。						
健やかな体（体）	生活習慣の定着と体力の向上を図る。	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校との連携による三点固定（就寝時刻・起床時刻・家庭学習開始時刻）の取組</li> <li>「ストップ9」の取組</li> </ul>	★三点固定の取組を行い、それぞれの定着率を75%以上にする。 ★生活リズムチェックによる「ストップ9」の達成状況を70%以上にする。						
		基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力づくり計画による体育授業の実施</li> <li>新体力テストの課題種目の取組</li> </ul>	☆体力づくり計画による体育の授業の実施をする。 ★新体力テストで、県平均以上の種目を70%以上にする。						
信頼される学校	働き方改革を推進し、組織力を向上させ、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。	組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の推進</li> <li>組織的な学校運営の強化</li> <li>不祥事防止研修の充実</li> <li>小中一貫教育の発展</li> <li>コミュニティ・スクールの推進</li> </ul>	☆不祥事防止研修は、主任や主事・学年会で担当を決め、計画的に一人一回研修を担当する。 ★働き方改革について研修及び業務改善を行い、業績評価（自己申告）書の「働き方改革に関わる項目」において、3以上の評価をしている職員を100%にする。 ★小中一貫教育推進協議会を中心に小中で統一した取組を行い、保護者アンケートで「学校は地域の小学校と連携した教育を行っている」の肯定的評価を80パーセントにする。 ★生徒アンケートで「ふるさと甲奴に誇りをもっている」の肯定的評価を90%にする。						
					指標評価・評価	a・A	b・B	c・C	d・D	e・E
					基準	100%以上の達成度	80%以上100%未満の達成度	60%以上80%未満の達成度	40%以上60%未満の達成度	40%未満の達成度
						十分に目標を達成できた	概ね目標を達成できた	ある程度目標を達成できた	あまり目標を達成できなかった	目標を達成できなかった